

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.118
2017.7

くしろ丹頂



第50回 鶴居村家畜共進会

CONTENTS

- 第50回 鶴居村家畜共進会 ————— 1
- 平成29年度 白糠・音別支所合同家畜共進会 ——— 2
- 日本獣医生命科学大学の学生による感想文—— 3~5
- JAグループ通信 ————— 6
- JA北海道大会・パネリストからの提言————— 7
- 普及センターだより ————— 8
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / お詫びと訂正 ——— 9



白糠・音別支所合同家畜共進会

第50回 鶴居村家畜共進会 開催



審査員
武隈 昭博 氏

六月二日、鶴居村家畜共進会場で、第五十回鶴居村家畜共進会が行なわれ、鶴居・幌呂地区から乳牛三十三頭、馬十四頭が出陳されました。

審査員には、牛の部根室市酪農家 武隈昭博氏、馬の部(独)家畜改良センター十勝牧場 久保喜広氏があたり、デリーイプリセスは、当JAの青山楓職員が務めました。グランドチャンピオンは、鶴居・(農)清和農場の出品牛スプリングセプテンラバンガード(10部四歳経産クラス)、馬の部は、幌呂・松井紀行さんの出品馬琴舞姫(5部牝二〜三歳)が最高位に選出されました。

主な成績及び出品者は表の通りです。

入賞牛一覧表				
グランドチャンピオン	スプリング セプテン ラバンガード	(農)清和農場	鶴居	
リザーグランドチャンピオン	インクリスフィールド タルティニ B ストンスザス	増田 一真	鶴居	
未経産	最高位	MS アールチエ マツカチエン ジョー	松下 雅幸	鶴居
	準最高位	A ラツイオ ATWD エレガンツァ ビスタ ET	安藤 功	幌呂
経産	最高位	スプリング セプテン ラバンガード	(農)清和農場	鶴居
	準最高位	インクリスフィールド タルティニ B ストンスザス	増田 一真	鶴居

部	結果	名号	出品者	地区
1部	1等1席	I F リラ プロカウ ET	増田 一真	鶴居
2部	1等1席	A ラツイオ ATWD エレガンツァ ビスタ ET	安藤 功	幌呂
3部	1等1席	T K S ゴールド ブルツクラセンザ ET	清水 武志	鶴居
4部	1等1席	MS アールチエ マツカチエン ジョー	松下 雅幸	鶴居
5部	1等1席	セジス アットウッド シヤミラ	(農)清和農場	鶴居
6部	1等1席	アワープライド ドアマン ブランキー ET	植田 紘史	幌呂
7部	1等1席	T K S パロ コン	清水 武志	鶴居
8部	1等1席	OP エムビービー ラプリー カウ	植田 紘史	幌呂
9部	1等1席	ヘンドリカ シエリル ノーム	(農)清和農場	鶴居
10部	1等1席	スプリング セプテン ラバンガード	(農)清和農場	鶴居
11部	1等1席	スター チャンピオン ファイナル	松下 雅幸	鶴居



審査員
久保 喜広氏

馬の部最高位：松井紀行さん

入賞馬一覧表				
最高位	琴舞姫	松井紀行	幌呂	
準最高位	清松	永吉豊志	幌呂	
部	順位	名号	出品者	地区
1部(和種馬)	1等1席	勝 緑	平田 忠幸	鶴居
3部(農用馬牝1歳)	1等1席	琴 風	田中 光儀	鶴居
4部(農用馬牡1歳)	1等1席	マルオ剛力	田中 光儀	鶴居
5部(農用馬牝2〜3歳)	1等1席	琴舞姫	松井 紀行	幌呂
6部(農用馬牝4歳以上)	1等1席	清 松	永吉 豊志	幌呂



白糠・音別支所 合同家畜共進会 開催

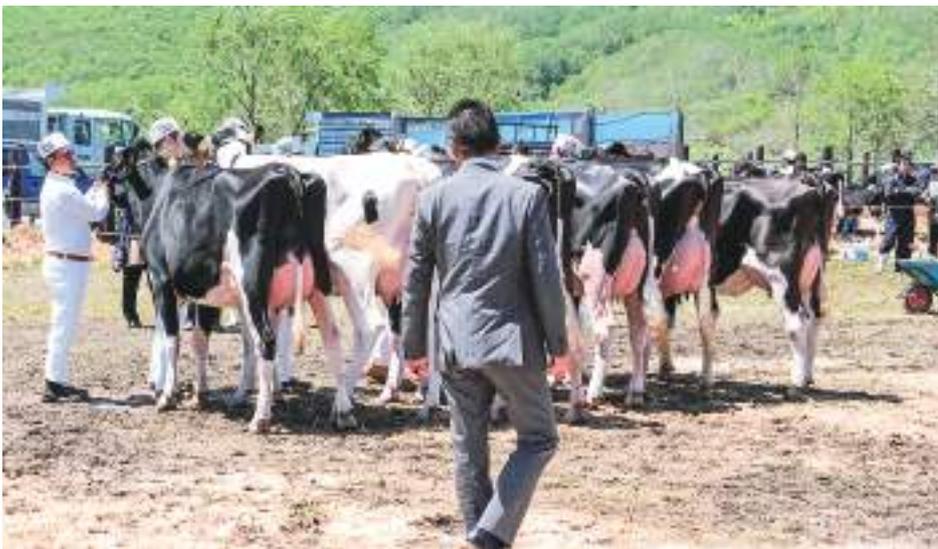


審査員
藤田 功氏



六月五日、白糠町家畜共進会場で、当J A白糠・音別支所合同家畜共進会が行なわれ、両地区から乳牛二十九頭、馬四頭が出陳されました。

審査員には、乳牛の部（二社）ジェネティクス北海道東事業所 藤田功氏、馬の部 釧路農協連 牧野恵亮氏があたり、デーリイクイーンは、当J A



の大野夏織職員が務めました。

グラントチャンピオンは、白糠・林稔幸さんの出品牛ウツズスターマセドラグットタイム（8部経産三歳クラス）、馬の部は、白糠・山田恵理実さんの出品馬 栄光姫（5部三歳以上牝馬子付）が最高位に選出されました。主な成績及び出品者は表の通りです。



審査員
牧野 恵亮氏



馬の部最高位：山田恵理実さん

入賞馬一覧表				
最上位	栄光姫	山田恵理実	白糠	
準最高位	夢臯月	小野田喜一	音別	
部	順位	名号	出品者	地区
4部（3歳以上牝馬小無）	1等1席	夢臯月	小野田喜一	音別
5部（3歳以上牝馬小付）	1等1席	栄光姫	山田恵理実	白糠

入賞牛一覧表					
グラントチャンピオン					
ウツズスター	マセドラ	グット	タイム	林 稔 幸 白糠	
リザーブグラントチャンピオン					
ヘイチヤン	イトー	アフター	フック	(株)伊深ファーム 白糠	
ジュニアチャンピオン					
ウツズスター	ジユディー	シユリツブ	タラ	林 稔 幸 白糠	
リザーブジュニアチャンピオン					
BS	マツク	サンハイ	マツカ	(株)大坂ファーム 音別	
部	順位	名	号	出品者	地区
1部	1等1席	BS	マツク サンハイ マツカ	(株)大坂ファーム	音別
2部	1等1席	HSY	アレキ エンジェル フレイ ET	細 谷 亮 太	白糠
3部	1等1席	ウツズスター	ジユディー シユリツブ タラ	林 稔 幸	白糠
4部	1等1席	フオグラント	インプレツション ナナ	五十嵐 大 地	白糠
6部	1等1席	KWF	アイデアル アツウッド プルツクリン	(株)敬和ファーム	音別
7部	1等1席	ヘイチヤン	イトー アフター フック	(株)伊深ファーム	白糠
8部	1等1席	ウツズスター	マセドラ グット タイム	林 稔 幸	白糠
10部	1等1席	ヘイチヤン	ブラクストン ベル	(株)伊深ファーム	白糠

日本獣生命科学大学の学生による感想文

No.2

①

J Aくしろ丹頂の方、実際に北海道で酪農業を営んでいる方からお話を聞くことができとても勉強になりました。とくに北海道で酪農業をする3つのメリットに関して

①手をかけた分だけ成果が出る

②子育てに適している環境

③仕事上での人とのつながりが多い

ということとは、すごく納得、また共感することができました。

現在は、TP Pや後継者不足などにより、酪農家戸数が減少している状況です。その問題に対してJ Aくしろ丹頂では、新

規就農者への支援や生産性・収益性の向上に取り組んでいます。

このように地域に密着したJ Aの働きかけがあり、北海道の酪農業は支えられながら少しずつロボットを導入したりと発展しているんだと思いました。私も将来酪農関係に就くのであれば北海道で働けたらいいなと思いました。



②

今回、釧路丹頂農業協同組合（J Aくしろ丹頂）の方々から直接、協同組合とは何か、概要について、施設や酪農業の現実など様々な情報を得ることが出来た。

私が、今回の講義を聴く中で特に印象に残っているのは、酪農業者数とそれに対する原因と対策についての問題である。現在、離農が進み酪農人口が減少してきていることや、酪農業就農者の高齢化が問題となっており、今後も事態は悪化すると予測されている。しかし、そうであるのにも関わらず、将来を見据えた不安から地域の担い手や新規就農者が入ってこない。そのため、勉強会や参入しやすいようなJ Aの利用があった。

また、牧草の確保、搾乳、牛や施設の管理などを一手に担う個人経営の酪農家の負担の大きさが問題視され、外国

人研修生を利用するなどの対策がなされていた。

私の暮らす東京では、酪農家はもちろん農家の数が少ないため、畑や牧場を目にする機会がほとんどない。酪農業の就農者と接する機会もないので、酪農業者人口の減少が問題となっていると認識していても、意識を向けにくいのが現状であったと思う。しかし、釧路丹頂農業協同組合のように「地域社会への協力・交流を積極的に行い大切にす

る。」「みんなは一人のために」一人はみんなのために」というのは、同業者だけではなく、私たちにも重要であると感じた。

動物科学科の学生として、動物だけではなく、こうした人間的な問題も積極的に学び研究していくことが大切で、実施していきたいと考えることが出来た。



③

釧路丹頂農業協同組合は、組合員の組合員による組合員のための事業運営を行っている聞き、これからの日本における農業の展開には欠かせない大切なことだと思いましたが。

農業とは、経営において情報交換が必要だと言いますが、その他にも人とのつながりが活きる場面はたくさんあります。地域の人たちと協力しなければ、よりよい畑はつくれないそうです。まさに、理想の農業経営の見本として、JAは機能しているのだと感じます。

私が小学生だったとき、「パルシステム」のCMがよくテレビに流れていたことを思い出しました。今でもパルシステムを利用して人はい多いと思います。牛のキャラクターが印象的だったのですが、

その理由が今、JAくしろ丹頂さんとの出会いでわかりました。安全・安心な高品質の牛乳生産販売のために、生産農家に適切な衛生管理・防疫指導をしているという取り組みは、とても生産的で、今の国産牛乳はこんなに徹底しているものだと知ると、もっと買って試してみたいという考えになります。

きつと、まだ農協の取り組みや牛乳、乳製品がどれだけ行き届いた管理をされているか、国民の中の知名度は低いものだと思います。そこで、パルシステムのようにCMでもっとアピールすることにより、農業や酪農への関心が今まで以上に高まると思います。国産のものは、国で消費することにより、よりよい経済をまわせることが理想だと思います。

④

今回の講演を通して、酪農の魅力について知ることが出来たと思う。なかでも「手をかけた分だけ成果は上がる」という言葉が印象的だった。

一般企業では「いかに早く結果を出すか」が重要になってくるが、命を相手に行う酪農の場合、すぐに結果は出ない。しかし、毎日の地道な積み重ねがトータルで考えると良い結果に繋がったり、やりがいを感じると思う。また、1人では出来ない仕事だからこそ、周りの人との交流を増やすきっかけをつくり、充実感を味わえる。酪農の魅力だけでなく、近年の農業経営の現状についても知ることが出来た。

釧路管内の農家人口の推移は、平成7年と比べ平成27年は半分に落ち込んでいることから、高齢化や後継者不足の深刻化が読み取れる。さらに、



近年の「酪農バブル」の影響で離農者が増えれば、ますます農家人口が減少してしまうと思う。

「地域農業を担う人材の導入・育成」の取り組みを通し、農業に対する関心を若い世代にもってもらう必要がある。私も体験実習を通して酪農をもっと知りたいと思っている。現地でしか学べない貴重な体験をし、将来に活かしたいと考えている。

⑤ 今回の酪農経営についての

講義を聞き、酪農という職業や第一産業は他の職業よりも職につく時も、ついた後も人との関わりが特に大切なのだと分かりました。

酪農は、今の時代にはとても貴重な人と動物が家族のような関係をもった職だと思います。今の人々は命に対しての関心がありません。世界の国々を見ても日本は低く、保



護活動なども少ないです。

そんな中、酪農は家畜が常に人の側におり、家族みんなが家畜に関わりをもちます。そのお陰で子どもたちが自然や動物と触れ合い命の大切さや素晴らしさを知ることが出来ます。なので私もそんな職につき、ただ家畜の世話をするのではなく色々な地域におもむき、様々な人々と関わり、少しでも多くの人に家畜や動物に興味をもつてくれるような活動をしていきたいと思っています。

この講義はまさに興味をもたせる活動でした。2年生になったら北海道への実習に行きたいと思います。そして一つでも多くのことを学んでいきたいです。

⑥ 乳・肉用家畜論で学んでいた

ので、新規就農者や農家さんが減少しているのは知っていました。地元に農家がないう上、あまり身近に感じる機会も少なかった。実際に北海道で酪農を営む方やJAの方々の話を聞くのは新鮮でした。座学で学ぶより、現地の人々の体験を聞くほうがうなのか、と納得しやすかったです。

私の曾祖母が釧路に住んでいた。以前から釧路がどんな所なのか気になっていた。今回のお話しを聞けたので、良かった。また、釧路にタンチョウがいることを初めて知りました。いつか、酪農の勉強もかねて釧路に行ってみたいと強く思いました。

私はまだ大学を出た後の進

路を考えていないので、将来どんなことに関わる仕事に就くのか分かりませんが、今回の話しを聞いて少し酪農に興味を持ってました。大自然に囲まれて仕事をするのはとてもあこがれます。もし、私がそういった進路に進まなくても、多くの人が酪農の魅力を知り、新規就農者が増え、副業や牛の売買に頼らなくても成り立つくらい栄えたら良いなと思いました。

今の、何となく大学まで行き、とりあえず会社に就職する、というような風潮がなくなれば良いなとも思いました。貴重なお話しを聞くことができて本当に良かったなと思います。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

日EU・EPA交渉が大枠合意に至る可能性が高まっていることから、6月14日「日EU・EPA交渉から北海道農業を守り抜く要請運動」を実施し、日EU等経済協定対策本部（自民党）の幹部役員、道内選出与野党国会議員及び農林水産省に要請を行いました。乳製品、豚肉、小麦粉調製品、馬鈴しょ、でん粉等が大きな焦点になると想定されますが、十分な情報提供がないまま大枠合意に向うことに大きな不安が広がっています。引き続き、政府・与野党に対して衆参農林水産委員会決議（H28・12）に基づき、農林水産物重要品目の再生産を可能とする国境措置の確保や交渉内容・進捗状況について丁寧な情報提供を求める運動を展開していきます。



JA北海道信連

5月に、JA窓口職員のスキルを向上し、JA窓口をご利用いただく皆様のニーズに 대응していく事を目的に「JAバンク北海道窓口セールスコンクール」を開催しました。

当日は、各地区の予選等を突破した16名が「年金指定替部門」、「純新規推進部門」の2部門で接客や提案力を競いました。JAバンク北海道では、コンクールを通じて、より一層のお客様の満足度向上を目指して参ります。



ホクレン

ホクレンは、酪

農生産盤強化対策の一環として、北海道特有の冬場の子牛事故率低減に向けた「冬期子牛飼養環境向上支援事業」を実施しておりますが、平成29年度から和牛繁殖農家の皆様に対する事業「冬期子牛飼養環境向上支援事業（和牛版）」を始めました。具体的には、出生直後の子牛を暖める機械装置や分娩監視モニター等の導入助成を行います。



詳しい日程・事業内容については、JA担当課へ問い合わせください。

JA共済連北海道

社会貢献活動の一環として、昭和50年から継続して道内各自治体へ救急自動車を寄贈しています。道庁総務部の危機対策課へ寄贈先の選定審議を依頼しており、今年度は4台を寄贈予定。今年度の寄贈が完了すると累積寄贈台数は記念すべき200台を超え、202台を数えることとなります。

今後も行政やJAと連携を図りながら交通事故防止と被害者救済への取組みを強化し皆様の為に貢献して参ります。



JA北海道厚生連

北海道厚生連では、

イメージキャラクター「コウセイくん」を作りました。医療をイメージした白に北海道の緑を取り入れた、のんびり優しい性格のシロクマくんです。今後、様々な場面で登場しますので、癒されるキャラクターとして親しんでいただきたいです。



JA2MP（ジェイエイジャンプ）アプリで北海道厚生連を検索すると「コウセイくん」が登場しますので、皆さん是非会いに来てくださいね。

J A 北海道大会実践フォーラム

「パネルディスカッション」

テーマ「協同の力で実現する農業所得20%増大に向けて」

作家・エッセイスト 森 久美子氏

「協同の力で実現する農業所得20%増大に向けて」と題したパネルディスカッションにおいて、パネリストの皆さんから頂いたご提言をシリーズでご紹介します。

第2回は、森久美子氏の提言をご紹介します。



森 久美子氏
作家・エッセイスト
農林水産省・食料・農業・農村政策審議会臨時委員
北海道農業・農村審議会委員

消費者への情報発信を

一連の農協改革と、自己改革が政府から言われる中で、消費者も、コストが高つくから農協の資材を買うのはけしからんと思ってしまうことがあります。

消費者は仕組みが分かっています。農協が悪者にされている感が非常に強く、その誤解を解くように、消費者へ

の発信をして頂きたいです。

組合員がお金を払って自ら運営する協同組合の購買事業に対して、誰かが切りつけていいのかという思いがあります。農協が売れるものや、農協経由で販売されているものはコストが高くないから高いのではないかと、直に農家から買った方が良くと思う消費者は、明らかに知らない間に増えていると思います。

そこを払拭するためにも、JAいわみざわの事例発表にありました、資材センター設置などの施設統合によるコスト削減等の事例は、どんどん発信して頂けたらと思います。

また、土壌診断を通じた肥料コストの削減などを、経営面積の大きい北海道ならではの独自性としてとらえて、発信して頂きたいと思えます。消費者にも農協があるからこそ私たちは安定供給してもらえるんだってことが理解できるようになると思います。

農協の連携で安定供給を

消費者は、北海道の農産物が美味しいと思っていて、生鮮野菜やお米は北海道のものを食べています。しかし加工品は、原材料が北海道かどうかをチェックしないで買う人たちがほとんどです。

加工品にかけるお金は、食費の40%以上で、生鮮品より加工品を食べることが多いです。農協側は加工品に北海道の物がどんな風に使われているかを、はっきり表示してアピールする。あるいは加工・販売業者に道産食材使用であることをきちんと表示してもらうように働きかけて頂くことです。端境期に何を使うかは加工業者にとっては死活問題なので、農協の連携で端境期を埋めて、一年間オール北海道の材料を供給できれば、北海道はより強い産地として生き残って頂けます。

安定的に量を供給できる横のつながりを持って、国民の胃袋を守るといふ認識をしっかりと持って頂いたら、農協の力をもっと広がるのではないかと思います。

最後に一言

所得増大が、なぜ必要なのか。それは来年も営農できる再生産可能な価格で買ってもらうなければ続けられないからです。消費者に対して、美味しいものを再生産して渡すために所得増大は必要だよ、というメッセージが伝わっていないように感じます。

消費者が買う価格に上乗せされるのではという抵抗感を減らすために、コスト削減努力をしていることを是非伝えたいです。どんどん言ってくださって良いと思います。皆さんの胃袋、健康を守るには、安全で安心な食料を供給する農家が再生産可能な価格で買って頂くことが重要だよ、努力もしているから、少なくとも今の価格で買ってほしい、できればそれ以上に評価してきちんと買い支えてほしいという発信を、グループ全体ですべて頂けたら、もっと買う側にも伝わると思います。



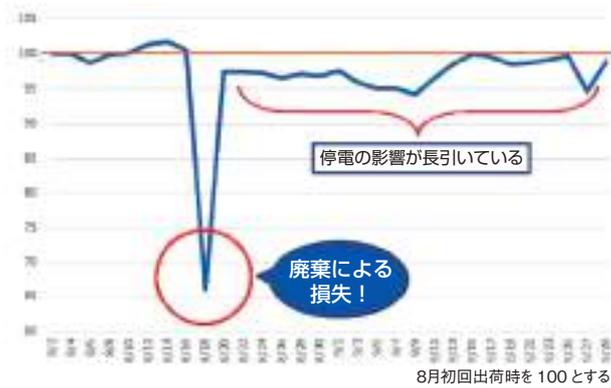


図1 台風被害前後の出荷乳量の推移 (A地区)

災害時の対応を 検討しましょう (停電対策を中心に)

昨年は、甚大な被害をもたらした台風による停電、乳房炎、建物の損壊がみられました。

「備えあれば憂いなし。」昨年の教訓を忘れずに、農場ができる非常時の備えについて考えてみましょう。

1 台風通過後の影響

昨年の八月十六〜十七日に釧路を直撃した台風七号による影響で、長期に停電が発生しまし

た。バルクの冷却ができなかったことによる廃棄乳の発生、搾乳ができないことによる乳房炎の発症、その後の牛の体調不良、アルコール不安定乳の発生がみられました。

図1にA地区の台風七号通過前後の出荷乳量の推移を示しました。出荷量は廃棄乳の分と、その後の回復までの期間で減少しており、影響が長期間にわたっていたことがうかがえます。乳房炎がなかなか治まらず、牛舎に行くのがおっくうになるという声も聞かれました。

2 自家発電機の導入の検討

停電による被害を最小限に食い止める備えが、自家発電です。A地区でも自家発電を導入していた農場では、最小限の被害で済んだという例もありました。

自家発電機には、エンジン式とPTO駆動式(写真1)があります。導入に当たっては農協独自の助成もありますので営業課までご相談下さい。

また、北電、関係官庁に届出が必要になる場合もありますので、ご確認ください。



写真1 自家発電機 (PTO駆動式)

導入が難しい場合でも外部電力をすぐに受け入れられるように「外部電気導入用切替開閉器」を準備しておきましょう。また、ミルカー、バルク、バンクリナーなどに最低限必要な電力を把握しておくことも重要です。不適切な接続方法や、必要電圧に満たない発電機を使用するなどで搾乳機器の基板が故障する事例もあります。接続の際は電気工事技師に依頼しましょう。また、リース会社に借入条件を確認しておく、地域で融通し合う仕組みを考えておくなどの対応を検討してください。

3 停電が長引いたときの対応

① 泌乳の刺激になるような濃厚飼料の給餌を控える。

② 頻繁な人の出入りを避ける。

搾乳間隔が三十五時間を超えると泌乳は停止するので、それまでに対応を講じつつ、決して焦らず通電を待ちましょう。

4 体調不良の対応

① 停電後、最初の搾乳は、ブツの有無を確認する。

② アルコール不安定乳が出るなど体調が思わしくない場合は、糖蜜飼料を粗飼料に振りかけるなど、エサの食い込みを落とさないようする。

③ 乳房炎等が見られたら、速やかに獣医師の診療を受ける。

④ 牛舎内の通風、牛床を乾かすような専用資材の散布を行う。

昨年の長雨高湿度条件でも牛床の乾燥に努め、乳房炎の発生がそれほど見られなかった農場もあります。

天災が来ないに越したことはありませんが、もしものために農場での対応をご検討ください。

(平成二九年七月作成)

理事会報告

6月定例理事会 平成29年6月29日(木)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 5月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. JAバンク基本方針に基づく報告について
6. 理事(生計同一であるもの)に対する資金の貸付報告について

付議事項

- 議案第1号 行平成29年度(第1四半期)にかかる監事監査の結果について
- 議案第2号 融資の承認について
- 議案第3号 固定資産の取得について
- ※以上全件原案通り承認されました。

その他協議事項

1. 当面の業務日程について

■平成29年度	生乳生産実績(6月)			
	月計乳量(kg)	6月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,419,756.4	95.8	25,223,229.7	95.7
鶴居地区	2,993,676.4	100.4	8,912,407.2	100.0
幌呂地区	2,198,903.6	94.8	6,669,468.7	95.7
白糠地区	1,763,505.8	95.3	5,242,120.1	95.1
音別地区	1,463,670.6	89.2	4,399,233.7	88.8
管内計	45,107,726.4	96.2	134,273,440.2	96.3
(前年度管内計)	46,866,594.8		139,493,860.9	

お詫びと訂正

6月号の表紙(小写真下)及び2頁の新規就農者で、誤りがございました。お詫び申し上げますとともに、改めて訂正させていただきます。
(誤)田口佑輔さん → (正)田口祐輔さん

8月21日(月)から本所・事務所の電話番号が直通番号に変更になります。

◆監査室 TEL(0154)64-2311 FAX(0154)64-2315

◆管理部

管理部 TEL(0154)64-2311 FAX(0154)64-2315
融資審査課 TEL(0154)64-2311 FAX(0154)64-2315

◆金融共済部

金融課 TEL(0154)64-2313 FAX(0154)64-2315
融資課 TEL(0154)64-2313 FAX(0154)64-2315
共済課 TEL(0154)64-2311 FAX(0154)64-2315

◆営農部

農業振興課 TEL(0154)64-2661 FAX(0154)64-2315
営農相談課 TEL(0154)64-2411 FAX(0154)64-2315
哺育育成センター TEL(0154)64-2260 FAX(0154)64-2220

◆購買部

生産資材鶴居店 TEL(0154)64-2334 FAX(0154)64-2213
Aコープ鶴居店 TEL(0154)64-2316 FAX(0154)64-2213
鶴居給油所 TEL(0154)64-2121 FAX(0154)64-2945

□これから8～9月にかけて日本列島は、台風が頻繁に到来する季節へと入ります。昨年、釧路管内でも8月に立て続けに到来した大型台風の影響により過去に例のない甚大な被害を受けました。長期停電による生乳の廃棄、施設の損壊、草地・デントコーン畑への土砂流入や流出・冠水被害など想像を絶する被害でした。今年も大型台風が到来する可能性を考慮し、個人及び地域で出来る自然災害への準備が急務となります。

編集後記
EDITOR'S NOTE